

小山町立すがぬまこども園評価「自己評価書」

1 教育・保育目標

「金太郎のように心豊かでたくましい子」
 かんがえる子 やさしい子 げんきな子

2 重点目標及び具体的方策

重点目標 「げんきいっぱい のびのび遊べる子」

具体的方策

- ・保育者との信頼関係を基盤に、その子その子の表現の仕方や個性を大切に、発達に必要な環境にかかわり、年齢に応じてのびのびと遊びながら、心身ともに成長できるようにする。
- ・友達とかかわって、遊んだり生活したりする中で、楽しさや喜びを味わったり、時には葛藤や挫折を体験したりしながら、友達と一緒に育つ援助をする。
- ・身近な自然や事象などのかかわりをとおして、発見したり不思議に感じたりしながら知的好奇心を育む。
- ・保育者・友達・高齢者・年少者・地域の人など様々な人とかかわりや自然とかかわり、遊具などのものとかかわりを通して、優しさやいたわりなど心の豊かさを育む。
- ・食事、排泄、衣服の着脱、片付けなどの生活習慣を身につける。また、生活のきまりや社会のルールを学び、みんなが気持ちよく生活ができるようにする。
- ・身近な地域の人や物ことを保育に取り入れ、教育効果を高める。
- ・保護者との連携の強化を図ったり、地域の子育て家庭の保護者同士のかかわりの機会を作ったりして、園が地域の子育ての支援を行っていく。

3 項目別評価

評価項目	項目別評価	評価の理由	職員アンケート結果	保護者アンケート結果
教育目標・園目標	B	・園目標を念頭に置き、意識をした保育を心掛けている。	B	A
保育計画・教育課程	B	・PDCAサイクルを意識し、見直しをもった、継続性のある保育の必要性があった。	B	A
保育指導	B	・子どもの「やりたい」という思いを受け止め、肯定的な言葉かけや援助を行ってきた。	B	A
研修	B	・時間の確保をし、計画的に行う必要性があった。	B	
特別支援教育	B	・特別支援コーディネーターを中心に共有を図ることができた。	B	
安全管理	B	・避難訓練では保育者が順番に総評を行った事で、自分事として捉えることができた。	B	A
保健管理・食事	A	・栄養士・調理師・保育者でアレルギー対応への徹底ができ、情報共有も園全体でできている。	A	A
組織運営・情報管理	B	・苦情解決の手順等が周知できるよう徹底したい。	B	A
保護者・地域との連携	A	・園での様子の発信から保護者に伝わることも多く、園と家庭との信頼感が深まった。また、職員も地域の教育力を積極的に活用するようになった。	B	A
施設・設備	A	・特になし	A	A

- (注) 1 評価表示方法「A：十分達成されている、B：達成されている、C：取り組まれているが、成果が十分ではない、D：取組が不十分である」
- 2 「職員アンケート結果」は、項目別評価用アンケートを集計したものである。
- 3 「保護者アンケート結果」は、項目別評価用アンケートのうち「わからない」と回答したものを除いて集計したものである。
- 4 「項目別評価」は、「職員による評価」及び「保護者による評価」をもとに、職員で話しあって決定したものである。

4 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取組み方法
研修	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の保育の積み重ねが子ども達の学びや成長につながるため、計画的に研修を行える時間の確保をしていく。 ・職員間で保育や園児について語り合うことはねらいや願いが共有でき、同じ目線での保育や援助ができる。些細なことでも気軽に話ができる風通しのよい、関係性を作っていきたい。

5 評価全体を通して（総評）

総合評価	評 価 の 理 由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・支援が必要な子について園全体で育てていくという意識が持てるように、支援方法の一貫と情報共有が前期の課題として挙げた。個の特性や対応の仕方、援助の方法など、職員同士で話したり、情報共有したりする時間を意図して設けた事で同じ思いで保育に取り組んでいると感じる。引き続き語り合う時間を意図して設け、保育の質の向上を図っていきたい。 ・地域との関わりはとても深まり、地域の中のこども園としての基盤が整ってきたと感じる。子ども達と職員が地域に愛着を持ち、大切に感じられるような保育を心掛けていきたい。 ・保護者からの意見は好意的なものが多く、安心して預けていただいていると感じる。だからこそ、保護者への園生活の様子の発信や送迎時の会話など保護者の心情にも心配りをしながら、信頼関係を大切にしていきたい。